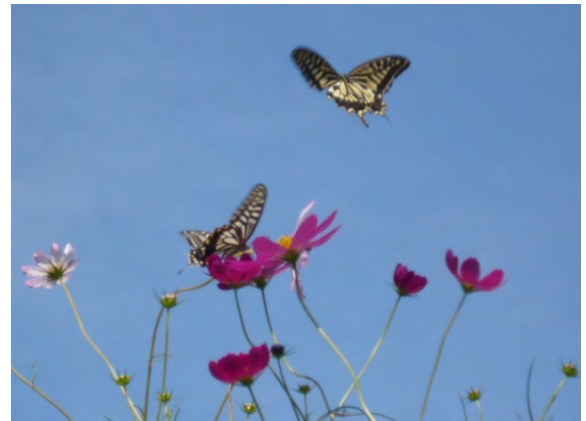


住まいづくりは幸せづくり

今月の写真



秋・我が家にやってきたアゲハ蝶カップル



深まる秋・風になびくススキ 栗山川

ひとりごと

ニュースレター woody-akiba

また、秋がやってきました。美しい紅葉に彩られる山々、樹木の美しさが心に滲みる季節です。どこへ出かけていくわけでもありませんが、このごろは身近な見慣れた風景でも彩りを深めて目を楽しませてくれます。しみじみとした思いに浸るこのごろです。

世の中は混迷を深めてきて、私たちの生活はますます重苦しい雰囲気になってきました。未曾有といわれる経済不況は、世界恐慌という声さえ聞こえてきます。ある先輩が言ったことば「わたしたちにとってやりがいのある時代に入ったと思う。」まさに自分自身の存在意義が問われている時代なのかもしれません。わたしにとっては、いま一度身を引き締めてあたりまえのことをこつこつと進めていくしかありません。

さて、秋も深まりこれから冬支度の時期に入ります。これまで、足元が寒い、スキマ風が入る、トイレやお風呂が寒い、窓に結露がひどい、暖房してもなかなか部屋が暖まらない、などお感じになったことはありませんか？家が古いからとあきらめることはありません。いままでは断熱の方法が格段に進歩し、格段に寒さを改善することが可能になりました。

小予算でも可能になる「断熱リフォーム」についてご説明させていただきますのでお気軽にご相談いただければ幸いです。

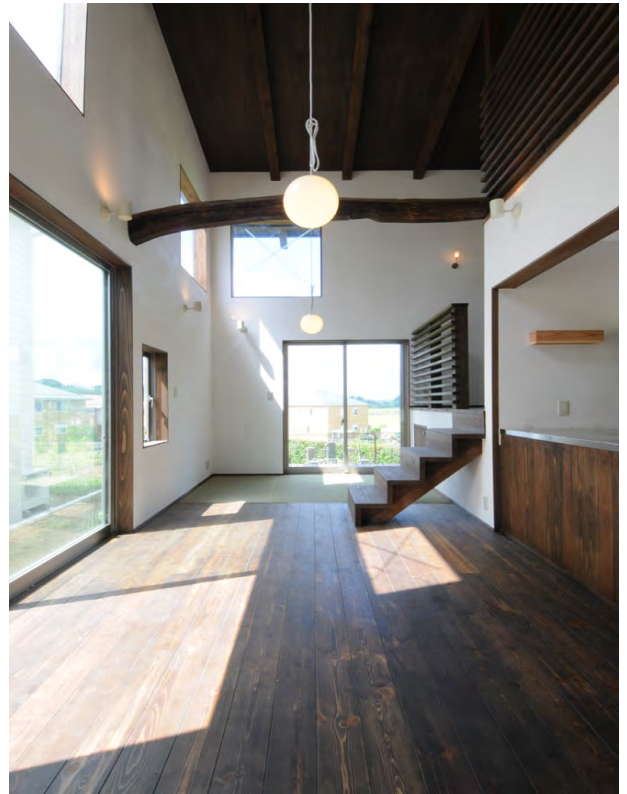
冬が近づくいま、弊社のこれからの模索しながら、これまでお世話になってきたお客様に感謝し、凡事実践を心がけていきたいと思ひます。

(平成20年10月25日) 秋葉 忠夫

古材のむこうに丸い窓が見える



つながる空間づくり



一階のダイニングは吹き抜けになっています。真ん中を貫いている丸い材は解体した古民家から譲っていただいた古材です。この一本の丸太が、古民家風デザインのシンボルとなっています。

古色に塗りあげられた床や木部に漆喰の白が日本の伝統美を醸し出しています。

リビングには畳が敷きこんであり、そこから外部デッキへと繋がっています。階段を5段上ったところはお父さんのスペースとなっており、ダイニング、リビングと繋がった空間になっています。

二階の多目的室も含めて、寝室を除けば空間が繋がっています。同時に家族の気配を感じることができます。

完成見学会へのご来場ありがとうございました。大盛況となりましたことを心より御礼申し上げます。



外観はシラスからできた壁材を塗りこんだ左官壁です。中二階から出られるバルコニーがアクセントになり、深い軒の出の下で印象的な外観をつくっています。

設計監理

高松設計事務所 高松 俊秀 先生

発行者 秋葉建設株式会社 秋葉 忠夫
〒289-2163 千葉県匝瑳(そうさ)市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
URL <http://www.woody-akiba.com>
Email master@woody-akiba.com